



[ 男女共同参画社会の実現をめざす情報誌 ]

特集

子ども **今** 昔物語

さんかくウィーク 2003

シリーズ ドメスティック・バイオレンス  
DVの実態と影響

OKAYAMA

2003.9

vol. 25

DUO

[ デュオ ]

岡山市

# 出産

今

- ▽ 妻の分娩に立ち会いました。
- 😊 教育費のことなんかも考えて、計画的に出産を考えています。
- 😊 男女の産み分けを指導している病院もあるわ。
- ▽ 家族が分娩に立ち会いました。
- 😊 女の子が欲しいという話をよく聞くわ。



昔

- 😊 出産は女の仕事といわれて、ひとりでがんばって産んだのよ。
- 😞 男の子が生まれると、「跡とり」ができたと言ったものです。



# 子ども



みなさんが学校の様子はどうで、子どもの育ちは置かれた環境に大きく影響を受けますが、その子どもを取り巻く女と男のありようも、

少しずつ変化してきています。性別に関わらず子どもが個性を発揮して、よりよく生きていくために、私たちはどんな社会を築いていけばよいのでしょうか。

家庭編 では昔と今で何が変わったのかを中心に、編集委員がさまざまな人にお話を伺いました。

# 名付け

今

- 😊 男でも女でもつけられる名前が増えているよ。「ユウキ」「カオル」など。
- ▽ 女の子の名前で「子」というのは減りましたね。
- 😊 いろんな漢字を自由に使うようになってきているね。「翼」「海」など。
- 😊 名前の響きに漢字をあてることも多いね。「リサ」「マリリン」など。



昔

- 😊 姓名判断で運のいい名前をつけました。
- ▽ 男の子には力強い漢字が好まれていたなあ。「武」「勇」など。
- 😊 生まれた順番を示す名前も多かったなあ。「太郎」「次郎」など。



今

- ▽ 休日には夫が子どもの世話をしている間に、買い物や美容院に行けます。
- 😊 保育園の送り迎えは夫婦交代で行くようにしているわ。
- 😊 子どものお風呂や寝かせるのも夫婦で協力してやっています。
- 😊 ぼくは育児休暇を取ろうと思っています。
- ▽ 妻に言われてやったら、子育てってけっこう楽しいよね。



# 命

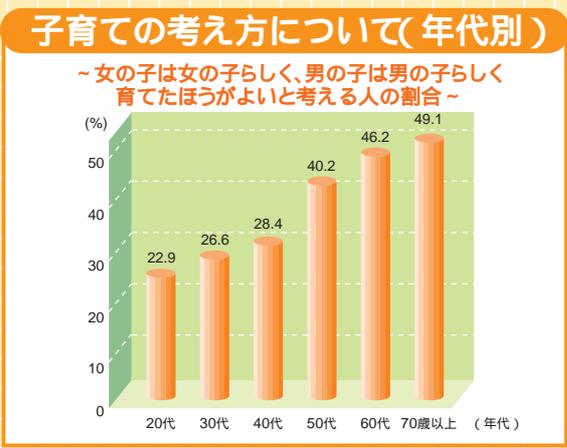
# 時

## 特集

# 物語

### 家庭編

どもだった頃の家庭や学  
 びましたか？



## 児

### 昔

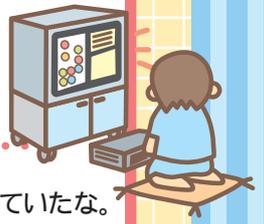
- ▽ 仕事優先で、ほとんど妻にまかせっきりだったなあ。
- ☺ 夫が家にいても、子どもの世話はしてくれなかったわ。
- ☹ 子どもが生まれたら、妻は仕事をやめて子育てをするものだとされました。



## 遊び

### 今

- ▽ 家庭用ゲームを夢中でしていますね。
- ☺ トレーディングカードを集めて、友だちと交換して遊んでいますね。
- ☺ 一輪車やキックボードに乗っています。
- ☺ 遊びの約束は電話でしていますね。
- ▽ テレビのキャラクターの衣装を身につけて、なりきって遊んでいる。



### 昔

- ☺ 広場に集まって野球や缶けりをよくしていたな。
- ☺ 紙飛行機を作って飛ばしていたよ。
- ▽ ゴム跳びをして遊んでいました。
- ☺ ままごとをして遊んでいたわ。
- ☹ 紙の着せ替え人形でよく遊んだわ。
- ▽ 夏にはセミやカブトムシやクワガタを採りによく行っていた。
- ☺ 約束をしなくても、広場などに友だちが集まっていたなあ。
- ☺ しろつめぐさやレンゲで首飾りや冠を作っていました。



## しつけ

### 今

- ☺ 言葉遣いとか、親子が友だち感覚になってきているみたい。
- ▽ 男の子でも女の子でも、台所仕事を手伝っています。
- ☺ 親が強制的に何かをさせることは減ってきたかな。

### 昔

- ☹ ぼくは力仕事、姉は台所仕事を手伝っていた。
- ☹ 子どもは親に従うのが当然で、口答えをすると叱られた。
- ▽ 女の子は将来お嫁に行っても困らないようにって、厳しくしつけられたわ。
- ☺ 男の子は多少いたずらをしてても「元気な証拠だ」なんて言われたなあ。



性別に関わらず一人ひとりの個性が輝くために、学校ではどんなことに取り組んでいるのでしょうか？

学校編 では、編集委員が市内の学校を訪ねてみました。

【岡山市初!】市立高島幼稚園（園児数：183名、教職員数：9名）

大野鈴子園長先生と田中修敬先生（岡山市初の男性幼稚園教諭で採用後4年目）にお聞きしました。

【大野園長先生】

父親も子育て参加

父親にも子育てに参加してほしいので、お父さんとのふれあいデーを設け、百間川のせせらぎ広場で魚捕りや自然公園での探索活動などを行っています。これはだんだん定着してきました。

遊びは男女いっしょに

昔は、子どもたちに缶けりや鬼ごっこをしようと言うと、



「女の子たちも登っておいでよー（田中先生）」

「やろう!やろう!」と言って一日中みんなで遊んでいましたが、今は、外での遊びが昔に比べて少なくなってきましたね。

それから、今は遊びのグループは男の子と

女の子で分かれてはいませんね。ままとでも男の子も女の子もやっていますよ。だから、一人ひとりの子どもがそれぞれにがんばっている遊びは、どういう遊びでも「がんばれー」と応援してやり、子どもがお互いに支え合えるようにしていきたいですね。

【田中先生】

男の幼稚園先生って、ちょっとプレッシャー？

採用されたときには教員になれたという気持ちが大きくて、まわりのことは頭にありませんでした。ただ保護者と話しているうちに「男の先生だから子どもといっしょに走り回ってくれる」とか「男の先生だからダイナミックな保育をしてくれる」というような期待をもたれていることが少したつてからわかってきて、プレッシャーを感じたことがありました。

でも、いろんな経験をしたことで保護者とのコミュニケーションがうまくとれるようになってきて、保護者にも自分のことを理解してもらえてきたので、今は男性ということでのプレッシャーはなく、自分なりのいいものを出して保育をしたいと思っています。汗まみれになって鬼ごっこをして子どもと走り回っているときが一番楽しいです。

【男子が先、女子が後?】市立横井小学校（児童数：847名、教職員数：41名）

卒業式がきっかけで・・・

男女混合名簿導入は、平成13年度の卒業式を前に6年生担任の4人の教員が「卒業証書の授与は男子が先、女子が後というのを変えていきたい」と問題提起したことに始まります。時間をかけて教職員と児童に十分説明をして、その卒業式では男女混合名簿によって卒業証書を授与しました。保護者から反対の声はなく、むしろ賛成の声が多かったそうです。

これを機に平成14年度から他の学年でも混合名簿や混合整列を本格的に実施しました。毎月1回校内研修会を開き、人権教育の一環として男女平等教育について教職員が学んでいたことがこれらの取り組みに結びつきました。

児童は予想以上に積極的

混合名簿を導入したことで、男女別だった靴箱やロッカーも混合になり、そうじや給食などの当番活動、グループ分け、学習活動もこれまでとは変わってきました。



体験談を交えて率直に語ってくださった先生方

ある学級では、4～5人の班を作るよう教員が言うと、男子だけ女子だけの班になりがちでしたが、ある時「男子と女子いっしょになる方がいろいろな意見が

出るよ」という声をあげた児童がいました。それについて他の児童と話し合った結果、やっぱり男女いっしょがいいということになり、それからは教員が何も言わなくても、自然に男女混合の班ができるようになったそうです。

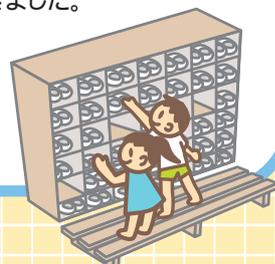
色や柄は自分の好きなものを

また、他の学級では家庭科で手提げ袋を作る際に、男子児童がかわいらしい布を選んでも誰も笑ったりせず、児童は自信を持って自分が好きなものを選んでいました。

同校では6年前に導入した自由服着用が定着したことや混合名簿の実施で、男女ではなく個人を尊重する土壌が育まれてきたようです。

教職員が一丸となった取り組み

取材には妹尾健太郎校長先生をはじめ4人の先生方が応じてくださり、児童のさまざまなエピソードを次々と紹介してくださいました。「自分が好き・友だちが好き・学校が好き」の学校教育目標を実現するため、校長先生の「教職員が一致団結することが大切です」との言葉どおり、若手教職員もベテラン教職員も熱心に、そしてわきあいあいと取り組んでいる様子が伝わってきました。



## 【たかが名簿、されど名簿】市立中山中学校（生徒数：664名、教職員数：47名）

「必要のない区別をすることが差別につながります」と、男女共同参画に長年かかわってこられた二宮幸得校長先生は、きっぱりと熱く語ってくださいました。

### 男女平等は自然体で

校長として平成14年度に赴任してすぐ、混合名簿の実現に取り組み、教職員間で勉強会を開いて討議しました。言葉遣いひとつにしても、「いまの言葉はおかしいですよ」と日頃から自然体で男女平等の意識をうながしてきたこともあって、ほとんどの教職員の賛同を得て平成15年度より混合名簿と混合整列を実施することになりました。

思春期の男女ということで教職員間に不安の声も少しありましたが、学区内の4小学校のうち2校で混合名簿を実施していることもあってか、生徒たちは自然に受け入れているようです。本校ではもともと男女の仲が良く男女間で話もよくできていたので、違和感がなかったのかもしれませんが。保護者からの反対もありませんでした。

### 先生の意識にも変化

一方、混合名簿の導入によって教職員の意識は明らかに変わり、男女で分けるのが当たり前という意識から分ける必要がないことに気付く場面が多くなったと思います。「男だから」「女だから」といった性別による見方をせず、生徒を一人の人間として見るようになりました。混合名簿では健康診断の時に書類を男女別に分けなければならないことが手間なくらいで、他に何ら不都合なことはなく、逆に男女に分ける必要があるのはどんな時なのかと意識が高



男女が混じって整列する様子も、もうじき当たり前になるかも！

まってきました。

### 男女平等教育を授業で

男女による持ち物の色分けはしていません。学級委員長は男女1人ずつ。班や係の長、文化祭のリーダーなどもやる気があれば男女どちらがなっても良い。ただ、呼称について「さん」で統一することはまだ徹底していません。今後の課題です。

また、今後は男女平等教育を年間のカリキュラムに授業としてきちんと組み込みたいと思っています。

### 市内公立学校園の男女混合名簿実施率

	幼稚園	小学校	中学校
平成14年度	89.7%	32.5%	18.2%
平成15年度	95.5%	50.0%	21.2%

## 【女子サッカー一部員誕生！】県立岡山操山中学校（生徒数：239名、教職員数：17名）

### 女子は貴重な戦力！

夏の強い日差しが照りつける中、県立岡山操山中学校サッカー部（男子部員21人、女子部員3人）を訪ねると、大勢の男子部員に混ざって女子部員がサッカーボールを追いかけてグラウンドを走り回っていました。

岡山操山中学校は中高一貫校として平成14年4月に開校しました。サッカー部はそれから遅れること2ヶ月、6月に生徒と保護者の要望により発足しました。発足当初は男子部員10人、女子部員3人。もちろん女子部員は貴重な戦力です。

同部担当の福田明教諭によると、女子生徒が入部を希望するとは正直思っていなかったのですが、入部に際しては女子生徒へサッカーの危険性などについて十分に説明を行ったとのことでした。



男女力を合わせて公式戦まずは1勝！

### 男女を意識することはあまりない

男子部員数名に女子部員のことを聞いてみると、部発足当初からいっしょに練習をしているので、女子ということを意識することはあまりないようです。ただ、ボールを取りにいって体と体がぶつかり合う時などにケガをしてはいけないので気を遣うことがあると話してくれました。

### サッカーをやって楽しい！

金田悠理さんに入部の理由を聞いてみると、「小学生の頃から休憩時間にサッカーをしていたので、中学生になったら本格的にしてみたかった」と言い、サッカーをしていてうれしい時はの問いに、「パスが正確にけれたりして技術があがったと感じるとき」と答えてくれました。松岡智子さんは「リフティングの回数が増えたことや、練習でシュートをして外れても男子部員が『ドンマイ』とか『オッケー』と声をかけてくれることがうれしい」と話してくれました。

二人とも、入部したいことを両親に話したときに、「自分が見たいのならしてみなさい」と言われたといいます。

また、金田さんは「男子のスポーツと言われても女子もすることができるし、楽しいところもたくさんあるから、とまどっている女性もそういうものに取り組んでみてほしいです」と話してくれました。

女子部員も男子部員も公式戦で1勝することを目指しながら、サッカーに楽しく取り組み、気持ちのよい汗を流しているようでした。

# さんかくウィーク 2003

6月21日～27日

さんかく  
岡山行事

岡山市では、毎年6月21日から27日までの一週間を男女共同参画推進週間（さんかくウィーク）と定めて、この期間中に市民のみなさんと協働で男女共同参画社会の形成の促進を図るさまざまな行事を開催しています。

## 記念 セレモニー

さんかくウィーク 2003記念セレモニーを6月22日（日）にマカリフォーラム岡山で行いました。約600人の参加者のみなさんを前に、来賓である楠木忠司市議会副議長、兼松久和連合町内会会長、佐藤久子連合婦人会会長から男女共同参画社会への熱いエールが送られました。



セレモニーに続いて「解剖学者からみた21世紀の男学・女学」と題した養老孟司さんの記念講演会を開きました。養老さんは、性は二元的ではなく、その間に無限のバリエーションがあるのは自然現象だとして、人間は女性か男性のどちらかに属するとする考え方に疑問を投げかけました。

## 事業者 表彰

記念セレモニーでは平成15年度岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰を行い、全日信販（株）と（株）中国シール印刷の2社に萩原誠司市長が表彰状と副賞を授与しました。



## ワードカップ Okayama

6月28日（土）には、さんかくウィークのフォローイベントとして西川アイプラザで「女と男のワード（Word）カップ Okayama」のファイナルキックシンポジウムを開催しました。「女と男のワードカップ」は読む者を「おや？」と考えさせたり、「はっ！」と気づかせてくれたりするようなことばを全国から募集し、市民参加による人気投票で優秀作品を選考するもので、シンポジウムの冒頭において、ゴールデンワード賞などを発表し賞状と記念品を贈りました。

それに続いて、作家の岩井志麻子さん、アナウンサーの多賀公人さん、萩原誠司市長の3人をシンポジスト、男女共同参画専門委員会委員長の正保正恵さんをコーディネーターとして、「女の本音、男の本音」を題材に熱いトークバトルが繰り広げられました。



あなたのため、きっと何かが出るはず。  
思いやりに男女の差なし。

シルバーワード賞



お互いに「ごめん」のひと声  
勇気を出して心のあく手してみない

ゴールデンワード賞



夫から かあさんよばわり されたくない  
あなたを生んだ 覚えなし

ブロンズワード賞

さんかく  
BOX

## 公民館 行事

今年のさんかくウィークでは、ママカリフォーラム岡山以外でもさんかく岡山や16ヶ所の地域の公民館で講演会やワークショップなどを開催し、全市的な取り組みを進めました。さんかく岡山では、仕事、性、リサイクル、虐待などを通して、男女共同参画社会を考えました。

各公民館では、人形劇やアニメや映画を見ながらジェンダーについて学んだり、育児、健康、色などをテーマとして、性別に関わらず多様な生き方が認め合える社会を考えました。

### 【参加者の感想から】

アニメをこれからは違った視点で見ようと思う。こんな見方があるんだと新しい発見があった。

性についてこんなに包み隠さず話してよいのかとはじめはびっくりしたが、つくられた性のイメージから抜け出ることができ、本音で話せて考え方が変わった。

社会的・歴史的な女性らしさ、男性らしさにしばられずに、その人らしさを大切にしていきたい。

ジェンダーの意味を知り、これからそれについて考えてみたいと思いました。

## 会社 訪問

(株)中国シール印刷は従業員68名(女性25名、男性43名)の印刷業者です。同社ではほとんどの部署に女性も男性も配属されており、福家主任を中心に制作したラベルが2年連続世界ラベルコンテストで1位になるなど、女性労働者の能力発揮に積極的に取り組んでこられたことが高く評価されました。

そこで(株)中国シール印刷さんを訪問し、その取り組みについて西山隆三郎代表取締役社長、竹内良一常務取締役、福家道代主任にお話を伺いました。(全日信販(株)は次号に掲載する予定です。)

### 女性社員が目覚ましい活躍をされていますね。

【西山社長】感性を持っていれば、女も男もいっしょだからという気持ちで採用しています。それが福家主任をはじめとする女性の活躍になっていると思います。優秀な女性を採用して、長く働いてもらえる環境を作ったことが世界ラベルコンテストに入賞するなど、会社のイメージ向上にもつながっています。これからは女性を活用しないと、会社がやっていけないんです。

### 育児をしながら働くことは大変な時もありますよね。

【西山社長】私も経験してきたことです。小さい子どもは急に熱が出たりしますよね。そういう時は、「子どもあって家庭があっての会社だから、仕事があるからと我慢せずに、すぐに帰ればいいよ」と言っています。仕事のことは気にせず、子どもをみてあげなさいと。従業員は家族だという思いです。

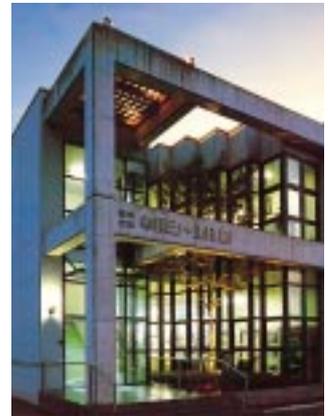
### 福家主任にとって仕事とは？

【福家主任】仕事を続けていくことが、自分らしいあり方だと思います。仕事をやめようと思ったことはありません。デザインの仕事にも一定の枠はありますが、その中で自分らしさを出して常に目標を持ちながら仕事を続けたいです。

子育ても、会社から帰ってしっかり子どもと遊び、遅くなくてもふれあう時間をとりたいと思っています。夫がよく協力してくれますし、家事や育児だけではなく、いろいろなことに取り組んでいきたいですね。

福家主任の専門学校時代の先生でもある竹内常務は、当時の彼女を振り返り「学生の頃から、課題に対して自分の中で葛藤があり、こだわりを持ってやっていた。それにみんなを統率する力があつた。明るい性格で、気遣いもできて先を見て行動している」と評します。

福家主任の能力もさることながら、それが発揮できる環境に普段から心配りをされている西山社長や竹内常務の姿勢が、世界ラベルコンテスト入賞をはじめとする成果につながっているのだと確信しました。



西山社長と福家主任



第14回世界ラベルコンテスト2002  
入賞作品

# シリーズ ドメスティック・バイオレンス(DV) DVの実態と影響

前号では【シリーズ DVって何?】と題して、『ドメスティック・バイオレンスの種類・サイクル』について掲載しましたが、今号では、『ドメスティック・バイオレンスの被害の実態とその影響』についてご紹介します。

「暴力を受けたことがある」  
女性が全体の11.4%

多くの女性が夫から暴力を受けています。

**ドメスティック・バイオレンス(DV)とは**  
夫(妻)や恋人などの親密な関係にある人からの暴力。  
特に女性に対する親密な関係にある男性からの暴力を指して言うことが多い。



命の危険を感じるくらいの暴行を受けたことがある 4.6%  
医師の治療が必要となる程度の暴行を受けたことがある 4.0%  
医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けたことがある 14.1%  
あなたがいやがっているのに性的な行為を強要されたことがある 17.7%  
あなたがいやがっているのに性的な行為を強要されたことがある 17.7%  
平成12年2月総務府(現内閣府)「男女間における暴力に関する調査」より

配偶者間における刑法犯検挙件数のうち女性が被害者となった事件の割合(平成14年)  
 暴行.....96.3% (219件中211件)  
 傷害.....95.8% (1250件中1197件)  
 殺人.....60.9% (197件中120件)  
 警察庁統計

## DVを受けた女性たちは?

DVでは、本来一番安心できるはずの家庭の場で繰り返し暴力が起きることで、DVの被害者をその状況にとどまらせる様々な作用が働きます。  
主なものをピックアップしてみました。

- 夫がいなければ家族は生活していけないという**経済的依存**
- 子どもに対して、家庭を壊してはならないという親としての**責任感、罪悪感**
- 家を出ようとしたら、もっとひどい暴力を受けるのではという**報復への恐怖**
- この先一人で生活していけるのかという**自立への不安**
- 家族や社会からの**支援が得られず、孤立している**という思い
- 愛された記憶や暴力をふるわない時の夫の優しさへの**愛着、執着**
- 夫が変わるのを自分が助けなければという**救世主コンプレックス**
- 周囲の人に暴力を知られることに対して感じる**恥ずかしさ、屈辱感**

## 子どもたちもDV被害者

暴力は子どもに大きな被害を与えます

- 身体的損傷、身体的成長の停滞
- 罪悪感、怒り、抑うつ、不安、恐怖
- 攻撃性、いらいら、不信感、対人能力の低下、自己卑下
- 子どもらしさの欠如、孤独感、感情抑圧
- 学業不振、さまざまな問題行動

母親が傷つけられるのを目撃するだけで重大な影響が...

- 暴力を使って力で支配する人間関係を学んでしまう
- 自分が助けられないことに罪悪感を抱く
- 男と女に関する歪んだ見方を持つ
- 絶え間のない緊張感から不安定になったり不登校になったりする
- 過度に騒いだりふざけたりする、またはぼんやりしている
- 他の子どもにも暴力を振るう

あなたはひとりぼっちではありません。岡山市男女共同参画相談支援センターではあなたからのご相談をお待ちしています。

## 岡山市男女共同参画相談支援センター

岡山市表町三丁目14番1-201号 アークスクエア表町2階 「さんかく岡山」内

男女共同参画相談支援センターでは、専門の相談員があなたの悩みの解決をお手伝いします。また、配偶者からの暴力で身の危険を感じ、すぐに逃れたいときは、あなたを安全な場所に保護(緊急一時保護)します。

相談ほっとライン 086-803-3366

相談受付時間 水～月 午前10時～午後7時30分  
日・祝 午前10時～午後4時30分  
緊急一時保護は24時間いつでも対応します。



DUO vol.25

## 編集後記

T:「今号から編集に参加しました事務局のTです。よろしくお願いします。」  
 O:「初めて編集をしてみてどうだった?」  
 T:「う～ん、編集って想像以上に難しいですね。編集をしながら、自分自身がいろいろなものを作っていきながら気づかれました。もっと学んで、いいものを作っていきたいですね。」  
 O:「そうね。これからのDUOも、Tさんが加わったことで新しい視点・フレッシュなものを作っていきたいわね。今回は子どもを特集で取り上げたけど、子どもと言えば、Tさん、そろそろね。」  
 T:「そうですね。私事です。近々二人目が産まれます。率先して育児休業を取って、子育てもがんばるぞ。友だちも誘おうかなあ?…」



事務局O 事務局T